

## 第232回研究科委員会・第338回教員会議 議事録

日時：令和4年5月11日（水） 13：30～15：20

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

### 議題

#### 研究科委員会

冒頭、研究科長からコロナ関連の報告があった。危機対策本部は月1回開催されている。学生への口頭指導前後から落ち着いてきたが、連休後、濃厚接触者等が増えている傾向がある。4月の危機対策本部会議では、1名の教員の外地研究が認められた。海外渡航は、まだ全面的に認められているわけではないことが報告された。

学生の出張については、研究科長宛にメールで連絡してほしいとの依頼があった。

#### [ 審議事項 ]

##### 1. 研究科長

(1) R5(2023)年度の共生システム理工学研究科博士前期・後期課程入試について

資料1に基づき、大学院入試の複数機会化の実施提案があった。特に質問はなく、提案通り承認された。

##### 2. 教務委員会

(1) 令和4年度9月修了の日程について

資料2に基づき説明があった。特に質問はなく、提案通り承認された。

(2) 令和4年度非常勤講師計画について

資料3に基づき説明があった。特に質問はなく、提案通り承認された。

##### 3. 入学試験委員会

(1) 令和5年度大学院(博士前期課程・博士後期課程)学生募集要項について

大学院の定員変更や、期入試の導入を踏まえて、募集要項を改定中との口頭説明があった。6月の教員会議で案が出される。

#### [ 報告事項 ]

##### 1. 入学者選抜方法研究委員会

(1) 大学院入試の複数機会化について

資料4に基づき説明があった。

##### 2. 入学試験委員会

(1) オンライン口頭発表・口頭試問時の入試委員の立会について

これまでの対応では問題の発生がなかったため、今後は面接委員3名のみで対応したいとの報告があった。

#### 共生システム理工学専攻会議

#### [ 報告事項 ]

##### 1. 教務委員会

(1) 令和4年度大学院研究課題等一覧について

資料5に基づき、環境放射能学専攻も含めて前期課程・後期課程の報告があった。

## 教員会議

### [ 審議事項 ]

#### 1．教務委員会

##### ( 1 ) 令和4年度9月卒業の日程について

資料2に基づき説明があった。特に質問はなく、提案通り承認された。

##### ( 2 ) 令和4年度非常勤講師計画について

資料3に基づき説明があった。特に質問はなく、提案通り承認された。

#### 2．財務・施設委員会（前年度委員長）

##### ( 1 ) 令和4年度予算編成方針と予算配分について

資料6に基づき説明があった。R4年度から教育業務経費が配分されることになった。BYOD化で予算額が増加した項目がある。一方で、教育・研究用計算機システムは不要となった。

SciFinder や MathSciNet は授業と同じ予算かとの質問があり、前図書館長から、理工学類で負担しているとの説明があった。使用実績は図書館の運営委員会で把握している。以上を踏まえて、令和4年度予算編成方針と予算配分は提案通り承認された。

### [ 報告事項 ]

#### 1．教務委員会

##### ( 1 ) 転学類・転コースについて

資料7に基づき報告があった。

#### 2．基盤教育委員会

##### ( 1 ) 令和4年度基盤教育非常勤講師計画の変更について

資料8に基づき報告があった。非常勤のコマ数は2019年度で頭打ちになったが、2020年度から語学教員のサバティカル等で増加した。来年度の基盤教育科目については、関係教員に問い合わせている。

#### 3．入学試験委員会

##### ( 1 ) 令和5年度個別学力検査等の専門委員について

委嘱状を先週から配布していることと、今年は稼働可能な教員が少なく無理をして協力をお願いしているとの報告があった。

#### 4．入試広報委員会

##### ( 1 ) 理工学類 HP の「お知らせ」欄への記事の投稿方法について

資料9に基づき説明があった。HP 情報発信量の増加を目指しており、「お知らせ」欄を使いやすくするためにマニュアルを作成した。記事の分類と見出しの例についての説明もあった。しばらくは、このマニュアルで運用したい。学類長から、ぜひ、マニュアルを活用して投稿してほしいとの依頼があった。

#### 5．学生生活委員会

##### ( 1 ) 令和4年度東北地区大学体育大会参加学生の欠席科目の取扱いについて

資料10に基づき説明があった。今年は福島大学が連盟主管となっている。

#### 6．奨学寄附金の受入について

受託研究1件、学術指導1件の受入れが報告された。

[ その他 ]

1. 学生生活委員会

( 1 ) 「アクティブ・スチューデント・コンテスト」の実施について

「アクティブ・スチューデント・コンテスト」実施のアナウンスがあった。応募はすでに始まっており、6月15日が締め切りとなっている。

教育研究評議会

第381回(4月19日開催)報告

【審議事項】

( 1 ) 学長選考・監察会議委員の選出について【資料1】

資料に基づき、各学類の学類長が選出されたことが報告された。

( 2 ) 大学院の改革について【資料2】

資料に基づき、教育プログラム連絡調整会議のメンバーの紹介があった。大学院の入学定員(理工学研究科:45名)については、大学院改革室から文科省に説明資料を提出したが、文科省から再度の説明が求められている。5月19日に事務相談が予定されているとの報告が研究科長からあった。文科省からの指摘に関する質問があり、文科省はIERの定員を減らしてもよいのかと考えているらしいとの説明が研究科長からあった。

( 3 ) 福島大学名誉教授の称号授与について【資料3】

全学では5名、理工からは2名が推薦され、了承されたとの報告があった。

【報告事項】

( 1 ) 就業規則の一部改正について【資料4】

4月からの組織改編により、就業規則の一部改正されたと報告された。附属学校園の職位追加に伴う改正もある。

( 2 ) 就業規則の制定等について【資料5】

4月1日より就業規則の制定等がされたとの報告があった。

( 3 ) 労使協定の締結について【資料6】

資料に基づき、36協定は100時間案に対して月70時間のままとなった等の報告があった。

( 4 ) 第4期中期計画の認可について及び福島大学運営計画の策定依頼について【資料7】

第4期中期計画は文科省から認可されたとの報告があった。資料7-1の32ページ以降に記載されている「Xその他」の「2. 人事に関する計画」や「3. コンプライアンスに関する計画」および「4. 安全管理に関する計画」が重要であるとの説明があった。資料7-2の「運営計画」策定方針に関しては、今年から作成することになり、6月3日が締め切りで現在フォーマットを検討中であること、不確定要素が多いことが報告された。資料7-5の黄色網掛け欄が理工作成部分である。

( 5 ) 令和5年度の地方国立大学の定員増への対応について【資料8】

ハードルが高いため令和5年度は申請を取り下げたことと、令和6年度にむけて申請を検討していることが報告された。

( 6 ) 令和4年度「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の詳細データについて【資料9】

資料9-3を基に説明があった。令和4年度における国立大学全体の配分対象経費は1,000億円で、配

分率は75～125%である。指標については、今年度は教育系・研究系指標に重点化された。福島大学は、グループ（旧重点支援1（地域貢献）のうち、病院無大学）に属し、グループには27大学がある。共生システム理工学類は総合理系に属する。福島大学全体としての配分率は96.1%で、12,835千円の減額となった。福島大学の3か年平均就職・進学率は高く、グループ内順位は5位で配分率は120%であった。一方、研究業績（H30～R2査読付き論文）は、総合理系が1.727でグループ内順位は最下位の27位となり、配分率は75%であった。そのため、学長が本学の研究力強化を指摘した。なお、研究業績についてはデータソースの問題（信頼度）もある。

(7) 国立大学法人東北大学と福島大学とのクロスアポイントメント制度に関する協定書の締結について

食農学類発酵醸造研究所の特任教員について、協定期間が1年延長された。

#### 運営会議

第174回（5月10日開催）報告

協議事項については、後日議事要録が出てくるとの報告があった。

#### 【審議事項】

(1) 「教育職員の勤勉手当について」の一部改正について【資料1】

資料に基づき、センターの名称が変更され一部改正が承認されたとの報告があった。

#### 【報告事項】

(1) 令和4年度学長表彰について【資料2】

理工学類からは、1名の教授が学長学術研究表彰されたことが報告された。

(2) 令和3年度内部監査報告について【資料3】

令和3年度内部監査報告では、特段の問題事項はなかったことが報告された。

(3) 令和4年度数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定申請について【資料4】

資料に基づき、申請することになったことが報告された。申請期限は5月20日である。各学類からワーキンググループにメンバーが出ている。来年度から全学必修となるのに、運営会議では報告事項となっており、後日評議会で審議されるとの報告があった。

全学執行部の進め方がまずく懸念が多いとの意見と、オンデマンドで採点はどうなるのかとの質問が出された。学類長から、本来ならばワーキンググループでの検討結果を周知すべきとの発言があった。

(4) 大学院の改革について【資料5】

資料に基づき、各研究科の進捗状況と今後の見通しについて報告があった。来年度入試については、現在の研究科単位で実施する。教員配属については、教育研究評議会で確認したとおりとする。新しい教育プログラムに係る記載は、理工学研究科では募集要項からは外すことになった。

#### その他

評議員より、教育研究業績管理システムの更新と自己評価シート作成について、5月13日（金）までに入力するように依頼のアナウンスがあった。